

事業名 CD	0107010311	葦崎市武田の里まつり補助事業	
細分化した事業名			
事業担当課室 CD	300400	商工観光課	整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	訪れる人に感動を与える観光業の振興
	小項目	魅力ある観光施策の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	ふるさとの祭りを盛大に実施し「武田の里にらさき」のイメージアップを図る。県内外にPRし観光客の誘客を図る。市民に楽しんでもらう。葦崎市の歴史と伝統を後世に伝えと共に商店街の活性化を始め、市民が参加することにより多大な経済効果を上げることが出来る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民・観光客
これまでの改善経過	古くは市制祭、武田三公まつり(信義・信玄・勝頼)、武田勝頼公新府入城まつり、H21からは武田の里にらさき・ふるさと祭りとして行なわれている。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input type="checkbox"/>市 <input type="checkbox"/>委託 <input checked="" type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他( )</p> <p>市からの補助金により武田の里まつり実行委員会が運営している。</p> <p>武田の里にらさきで、春・夏・秋まつり及び武田の里にらさき・ふるさと祭りを実施し、歴史と文化に親しみ、郷土愛を深め、市民の心のよりどころとなる市民総参加の一大イベントとするとともに、葦崎市を全国に紹介し、観光と産業の振興に寄与することを目的とする祭り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春、秋祭りは神社・氏子を中心となり、神輿・お神楽・踊りなどを中心にした祭り。</li> <li>・夏の武田の里まつりは、武田家累代の武田氏陣没将士供養会と供養を花火にこめて打ち上げる花火大会。</li> <li>・秋に行われる武田の里にらさき・ふるさと祭りは、市民総参加型の祭りで、駅前通りから本町通りを歩行者天国にし、各種団体のパレードやイベント、地元農産物・特産品等の出店で沿道に市民・観光客を集める。</li> </ul>
事業の成果 (どのような状態にしたのか、どのような効果を得るのか)	ふるさとの祭りを盛大に実施し「武田の里にらさき」のイメージアップを図る。県内外にPRし観光客の誘客を図る。観るから参加する形式に改め、市民に楽しんでもらう。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	14,680	14,680	13,280
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	14,680	14,680	13,280
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	0.80	0.61	0.95
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	5,527	4,162	6,383
D	総事業費(A+C) (千円)	20,207	18,842	19,663
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	615 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。  
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。  
 注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	祭りの開催回数	(回)	4	4	4
成果指標	観客数	(人)	38,250	43,996	46,106
効率指標	観客一人当たりのコスト (算出式数値)	総事業費/観客数 (円) (19,663 千円/46,106 人)	528.29	428.27	426.47

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 県内外に韮崎市を PR するとともに、市民まつりとして地域に定着したおまつりである		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 観客数が増加した。 事業内容の見直しや経費の縮減に努めた結果、事業費の減少につながった。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 事業費の減少により、単位コストの低減が図られた。		
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化 (コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善 (実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化 (結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化 (事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合 (他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 方向性は変えず、マンネリ化しないように催し物を工夫する。	(2)24 年度 イベント内容を見直し、より市民を巻き込んだイベントとする。	(3)23 年度 イベント内容の充実。
	22 年度の改善計画 「武田の里にらさき・ふるさとまつり」となってから 2 回目ということで、イベント内容の充実を図る。		
22 年度の改善結果 縮小された事業費のなかで、イベント内容を見直し、工夫した催しを行うことができた。			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 市民団体・自治会・各種文化団体・サークル等の参加や商工会との協働。			
課長所見	夏まつりはオンリーワンの花火大会をめざし参加者も増え、秋のふるさとまつりは市民総参加型のまつりとして多数の工夫したイベントを実施し来客者もわずかではあるが増えて初期の目的を達成できた。		